

下記は、1月16日(アメリカ時間)に発表されたプレスリリースの翻訳です。

**シティ、2008年第4四半期の決算を発表
純損失は82.9億ドル、一株当たり損失は1.72ドル**

**継続事業における純損失の121.4億ドル、一株当たり損失の2.44ドルは、
証券及び銀行業務における評価損及び損失、貸倒損失の増加、貸倒引当金の積増し、
並びに人員削減に関連する事業再構築費が主因**

費用、人員及び資産の削減が進展

強固な資本及び構造的流動性を持続

2008年通期の収益は528億ドル、純損失は187.2億ドル

2009年1月16日ニューヨーク発：シティグループ・インク(NYSE:C)は本日、2008年第4四半期の決算は純損失82.9億ドル、発行済株式数5,347百万株の一株当たり損失1.72ドルと発表しました。56億ドルの収益は、証券及び銀行業務における評価損及び損失により影響を受けました。また業績には、61億ドルの正味貸倒損失及び60億ドルの正味貸倒引当金繰入額が含まれています。

シティグループは、2008年通期の純損失を187.2億ドル、一株当たり損失を3.88ドルと発表しました。通期の事業部門別業績については、付表Cを参照してください。

主要な事項

- ・ 業績は、証券及び銀行業務における収益評価において78億ドル、デリバティブ・ポジション(モナイン保険会社を除きます。)に関する53億ドルの与信評価の下方修正、プライベートエクイティ及びエクイティ投資における25億ドルの損失、20億ドルの事業再構築費、並びに60億ドルの正味貸倒引当金繰入額といった悪影響を反映。
- ・ 預金ベースは、困難な環境にかかわらず2008年第3四半期に比べ同水準を維持。
- ・ 利ざや(正味利息マージン)は、2007年第4四半期に比べ73ベース・ポイント上昇。
- ・ 事業再構築費用及びリポジショニング費用を除く費用は、2008年第3四半期以降4%減少し、2007年第4四半期以降14%減少。
- ・ 2008年第3四半期以降、人員を約29,000名削減し、2008年通期で約52,000名の削減。
- ・ 資本ポジションは、金融安定化策(TARP)の一環としてなされた米国財務省に対する450億ドルの優先株式及びワラントの発行により強化。Tier 1資本比率は約11.8%。
- ・ ドイツのリテールバンキング部門の売却完了により税引後利益39億ドルを、シティ・グローバル・サービスズ・リミテッドの売却の完了により税引後利益1.92億ドルをそれぞれ計上。

2009年1月15日に最終合意に達した米国政府との損失分担プログラムにより、リスクが減少し、また3,010億ドルの対象資産に関する資本規制上の要請は軽減されました。加えて、シティは、米国財務省及び連邦預金保険公社(FDIC)に対する71億ドルの優先残余財産分配請求権付永久優先株式及びワラントの発行を完了しました。

2009年1月13日、シティは、モルガン・スタンレー・スミス・バーニー合弁会社について発表しました。シティは、スミス・バーニーと引換えに合弁会社の49%の株式を取得し、かつ27億ドルの現金の支払いを受けます。2009年後半に予定されている取引完了時に、本取引により、税引前利益約95億ドル(税引後利益約58億ドル)、有形普通株主資本約65億ドルの増加及びTier 1資本約64億ドルの増加が実現されることとなります。

経営陣のコメント

「シティの業績は、キャピタル・マーケットにおける前例のない混乱と脆弱な経済により不振が続いています。しかし、シティの顧客は活発にシティと取引をしており、多くの中核となる顧客基盤は引き続き好調な成果を達成しました。シティは、健全化という2008年の主要な目標に向けて引き続き改善を行いました。シティは、Tier 1と構造的流動性を大幅に強化し、バランスシートを圧縮し、費用及び人員を削減しました。シティはまた、バランスシートから生じるリスクの低減についても大きく前進しました。シティの非中核・不採算資産等(レガシー・アセット)は約3,000億ドルに減少し、3,000億ドルを超える資産は現在損失

分担のアレンジでカバーされ、また貸倒引当金に140億ドルが追加計上されました。シティがリスクを減少させ、また一定の有価証券及びローンの区分について、トレーディング目的保有及び売却目的保有から満期保有目的又は投資目的保有に組み替えるという施策を行った結果、2009年における時価評価に伴うボラティリティは減少するものと思われます。」

「本日、シティは、経営管理を目的に、会社をシティコープとシティ・ホールディングスの二つの事業部門に分割する予定を発表しました。シティは、収益性を回復させるため、またシティの価値の最大化とTCE(有形普通株式株主資本)の強化に専念するための明確なロードマップを作成しているところです。」

「シティは、金融市場のできる限り速やかな回復を支援することに取り組みます。この回復を加速させるため、シティはTARPにより受け取った資本を米国の経済や消費者の支援に活用されるよう提供しており、競争力のある条件で、責任をもって米国の家計やビジネスへの与信を拡大しているところです。」

「私は、我々の業界における著しく混乱した時期を通じてシティの何十万人もの同僚達がシティの顧客やビジネスのために注力し続けてきたことを評価したいと思います。世界の前例のない金融市場の混乱にもかかわらず、シティの同僚達は最高のプロフェッショナリズムと誠実さをもって行動してきました。彼らの働きや貢献のおかげで、シティはより力強く、より賢明に、そしてこの卓越した事業基盤による完全な収益力を実現するためのより優位な地位を確保して、現在の環境から抜け出すであろうことに疑いを持っておりません。」とシティの最高経営責任者、ピクラム・バンディットは述べています。

シティの業績

単位: 百万ドル(一株当たり利益を除く)	第4四半期収益		%	第4四半期純利益		%
	2008	2007		増減	2008	
グローバル・カード部門	\$4,612	\$6,279	(27)%	\$(610)	\$934	NM
<i>グローバル・カード(管理対象)</i>	<i>7,038</i>	<i>7,479</i>	<i>(6)</i>			
個人向け銀行業務部門	6,077	7,836	(22)	(1,678)	(578)	NM
インスティテューショナル・クライアント・グループ	(8,191)	(10,791)	24	(9,457)	(10,723)	12
グローバル・ウェルス・マネジメント部門	2,843	3,464	(18)	29	524	(94)
本社事項/その他	254	(369)	NM	(421)	(188)	NM
継続事業からのシティ合計	\$5,595	\$6,419	(13)%	\$(12,137)	\$(10,031)	(21)%
非継続事業				3,843	198	
シティ合計				\$(8,294)	\$(9,833)	16%
北米	\$(2,321)	\$(689)	NM	\$(11,019)	\$(8,947)	(23)%
ヨーロッパ・中東・アフリカ	2,989	(1,562)	NM	(332)	(3,296)	90
ラテンアメリカ	2,687	3,641	(26)	6	939	(99)
アジア	1,986	5,398	(63)	(371)	1,461	NM
本社事項/その他	254	(369)	NM	(421)	(188)	NM
継続事業からのシティ合計	\$5,595	\$6,419	(13)%	\$(12,137)	\$(10,031)	(21)%
非継続事業				3,843	198	
シティ合計				\$(8,294)	\$(9,833)	16%
継続事業からの一株当たり利益	\$(2.44)	\$(2.03)	(18)%			
一株当たり利益	\$(1.72)	\$(1.99)	16%			

NM: 意味を持たない。

第4四半期の概要

- **収益**は13%減少し56億ドルとなりました。事業全体における収益は、厳しい経済環境と脆弱な資本市場の影響を反映しています。

グローバル・カード部門のGAAP収益は27%減少しました。これは主に、北米における証券化の業績の低下、前年同期に計上したピザ及びマスターカード株式に関する税引前利益584百万ドルが当四半期にはなかったこと、並びに外国為替の影響によるものです。グローバル・カード部門の管理収益は6%減少しました。平均管理貸出金は2%減少しましたが、これは北米における取扱高の減少、及び外国為替の影響によるものです。北米の管理収益は4%増加しました。

個人向け銀行業務部門の収益は22%減少しました。これは、資産運用商品販売の47%の減少、抵当貸付サービシング収益の減少、外国為替の影響、取引高の減少、及びスプレッドの縮小によるものです。

インスティテューショナル・クライアント・グループにおいて、証券及び銀行業務の収益は106億ドルの赤字となりました。これは主に、78億ドルの純損失及び評価損(詳細については付表Dを参照してください。)、デリバティブ・ポジション(モナイン保険会社を除きます。)に関する53億ドルの与信評価の下方修正、並びにプライベートエクイティ及びエクイティ投資における25億ドルの損失によるものです。

トランザクション・サービスの収益は4%増加し24億ドルとなりました。これは、トレジャリー及びトレード・ソリューションズ(TTS)における二桁台の収益の伸びを反映するものです。平均預金残高及びその他の顧客債務残高は5%増加しましたが、これは北米の好業績によるものです。管理資産は18%減少しましたが、これは主に、株式市場の低迷によるものです。

グローバル・ウェルス・マネジメント部門の収益は18%減少しました。これは、特に北米及びアジアにおけるキャピタルマーケット及び投資事業の収益に係る市場状況の悪影響を反映しています。また、収益には、2008年8月7日の和解に関連するオークション・レート有価証券の評価損87百万ドルも含まれます。平均貸出金残高及び平均預金残高は、それぞれ3%及び4%減少し、手数料ベースの運用顧客資産残高は35%減少しました。手数料ベースの運用顧客資産残高の減少は、主に市場価格の下落の影響を反映して資産評価が低下したことによるものです。

- **営業費用**は5%減少し153億ドルとなりましたが、これはリエンジニアリングの取り組みの効果及び外国為替の影響を反映したものです。費用には、事業再構築費用20億ドル及び日興アセットマネジメントに関する無形資産減損費563百万ドルが含まれます。前年同期の費用には、リポジショニング費用539百万ドル及びピザ関連訴訟引当金306百万ドルが含まれていました。これらを除くと、費用は16%減少しました。
- **与信費用**は66%増加し127億ドルとなりましたが、この主な内訳は、正味貸倒損失61億ドル、正味貸倒引当金繰入額60億ドル、及び保険給付準備金繰入額594百万ドルでした。正味貸倒損失は26億ドル増加しましたが、これは主に北米における個人向け銀行業務部門及びカード部門並びに証券及び銀行業務に起因するものです。正味貸倒引当金繰入額23億ドルの追加計上は、主として証券及び銀行業務で計上されたライオンデルバセルに関する貸倒引当金繰入額12億ドルによるものです。保険給付準備金繰入額の増加は、プライメリカ・ファイナンシャル・サービスにおける今後の保険給付金に係る会計上の見積もりの変更によるものです。
- **税金**：継続事業の実効税率は、前年同期の42.7%に対して44.6%でした。当四半期の税金には、日本における消費者金融事業の再編に関する税務便益994百万ドルが含まれます。
- **資本ポジション**：当四半期、シティは、450億ドルの優先株式及びワラントを米国財務省に対してTARPの一環として発行しました。Tier 1資本比率は、約11.8%でした。
- **のれん**：昨今の市場経済事象及び本日の事業再編に係る発表を考慮し、シティは、引き続きのれんを見直し、減損が発生したかどうかを判断してまいります。

グローバル・カード部門

(単位:百万ドル)	第4四半期収益			第4四半期純利益		
	2008	2007	% 増減	2008	2007	% 増減
北米	\$2,640	\$3,678	(28)%	\$(371)	\$322	NM
ヨーロッパ・中東・アフリカ	537	565	(5)	(138)	120	NM
ラテンアメリカ	869	1,218	(29)	(154)	251	NM
アジア	566	818	(31)	53	241	(78)
グローバル・カード部門合計	\$4,612	\$6,279	(27)%	\$(610)	\$934	NM

NM:意味を持たない。

(単位:百万ドル)	第4四半期収益		
	2008	2007	% 増減
北米のGAAP収益	\$2,640	\$3,678	(28)%
証券化業務の影響	2,426	1,200	NM
北米の管理収益	\$5,066	\$4,878	4%

NM:意味を持たない。

● 収益

グローバル・カード部門のGAAP収益は27%減少しました。これは、主として、北米における証券化の業績の低下、前年同期に計上したビザ株式及びマスターカード株式に関する584百万ドルの税引前利益が当四半期にはなかったこと並びに外国為替の影響によるものです。グローバル・カード部門の管理収益は6%減少しました。

平均管理貸出金残高は2%減少しました。これは、北米における取扱高の減少及び外国為替の影響によるものです。

北米では、GAAP収益は28%減少しました。これは、証券化信託における貸倒損失の増加の影響を主として反映して、証券化収益が減少したことによるものです。管理収益は、4%増加しました。これは、管理正味利息マージンが97ベース・ポイント増加して11.04%となったことによるものですが、前年同期に計上したマスターカード株式に関する売却益が当四半期にはなかったことにより一部相殺されました。管理正味利息マージンの改善は、リボルビング残高の増加による利息及び手数料収入の増加並びに資金調達コストの低下によるものです。取扱高は、ポートフォリオのほぼ全体にわたる消費の減少を反映して15%減少しました。平均管理貸出金残高は1%減少しました。これは、取扱高及び借換高の減少によるものであり、ポートフォリオ全体にわたる返済率の低下により一部相殺されています。

ヨーロッパ・中東・アフリカでは、収益は5%、取扱高は21%、平均貸出金残高は7%それぞれ減少しました。これは、収益、取扱高及び貸出金の伸びを、外国為替の影響による相殺効果が上回ったことによるものです。

ラテンアメリカでは、収益は29%減少しましたが、これは、前年同期に計上されたビザ株式に関する利益が当四半期はなかったこと及び外国為替の影響によるものです。外国為替の影響を反映して、取扱高は15%、平均貸出金残高は13%それぞれ減少しました。

アジアでは、収益は31%の減少、取扱高は7%の減少、平均貸出金残高は1%の増加となりました。これは、収益、取扱高及び貸出金の伸びを、外国為替の影響による相殺効果が上回ったことによるものです。収益の減少は、前年同期に計上したビザ株式に関する利益が当四半期はなかったことも反映しています。

● 経費

経費は14%減少しました。これは主として、前年同期に計上したビザ関連訴訟引当金293百万ドルが当四半期はなかったこと及び外国為替の影響によるものです。また、経費の減少は、顧客獲得マーケティングが引き続き鈍化したことを反映して報酬費用及びマーケティング費用が減少したことによるものでもありますが、127百万ドルの事業再構築費用により一部相殺されています。

● 与信費用

北米では、正味貸倒損失の37%(242百万ドル)増加及び正味貸倒引当金繰入額172百万ドルの追加計上を反映して、与信費用は34%増加しました。与信費用の増加は、主な信用関連指標が引き続き悪化したこと及びマクロ経済環境のトレンド(失業率の上昇、破産申立ての増加及び住宅市場の低迷を含みます。)を反映しています。与信費用の増加は、延滞顧客が回収不能に至る比率が引き続き増加したことに加えて、顧客が延滞に至る比率が顕著に増加したことも反映しています。管理正味貸倒損失率は、シティブランドのポートフォリオでは268ベース・ポイント上昇して6.98%に、リテール・パートナーのポートフォリオでは340ベース・ポイント上昇して9.86%となりました。

ヨーロッパ・中東・アフリカでは、正味貸倒損失の154百万ドルの増加及び正味貸倒引当金繰入額174百万ドルの追加計上を反映して、与信費用は328百万ドル増加しました。与信費用の増加は、エッグの買収に関連して前年同期に計上したパーチェス法による会計調整金額並びに英国、スペイン及びギリシャにおいて引き続き与信が悪化したことを反映しています。正味貸倒損失率は445 ベーシス・ポイント上昇して5.17%となりました。

ラテンアメリカでは、正味貸倒損失の37% (115百万ドル) 増加及び正味貸倒引当金繰入額231百万ドルを反映して、与信費用は89%増加しました。与信費用の増加は、メキシコ及びブラジルにおける与信環境が引き続き悪化したことによるものです。正味貸倒損失率は517 ベーシス・ポイント上昇して14.18%となりました。

アジアでは、与信費用は54%増加しました。これは、正味貸倒損失の32% (39百万ドル) の増加及び正味貸倒引当金繰入額46百万ドルの追加計上を反映しています。与信費用の増加は、主としてインドにおいて引き続き状況が悪化したことを反映しています。正味貸倒損失率は96 ベーシス・ポイント上昇して4.02%となりました。

● 純利益

- 主として与信費用の顕著な増加により、610百万ドルの純損失となりました。

個人向け銀行業務部門

(単位:百万ドル)	第4四半期収益		%	第4四半期純利益		%
	2008	2007		増減	2008	
北米	\$3,604	\$4,545	(21)%	\$(2,165)	\$(920)	NM
ヨーロッパ・中東・アフリカ	512	697	(27)	(233)	(64)	NM
ラテンアメリカ	858	1,172	(27)	(76)	206	NM
アジア	1,103	1,422	(22)	796	200	NM
個人向け銀行業務部門合計	\$6,077	\$7,836	(22)%	\$(1,678)	\$(578)	NM

NM:意味を持たない。

収益は22%減少しました。これは、資産運用商品販売の47%の減少、抵当貸付サービシング収益の減少、外国為替の影響、取引高の減少及びスプレッドの縮小によるものです。資産運用商品の販売の減少は、世界的なキャピタル・マーケット活動が一般的に低調であったためです。平均貸出金残高は6%、平均預金残高は7%それぞれ減少しました。経費は3%減少しました。これは、リエンジニアリングの取組みの効果及び外国為替の影響が事業再構築費用384百万ドルを上回ったためです。与信費用は23% (11億ドル) 増加しました。これは、正味貸倒損失の大幅な増加(17億ドルの増加)を反映しています。また、この与信費用の増加は、北米においてポートフォリオ全体にわたって計上された繰入れを中心とする正味貸倒引当金繰入額23億ドル(全ての商品ラインにわたる顧客向けローンについてのローン調整の増加に対する引当金の追加を含みます。)を含みます。

● 北米

- 収益は21%減少しました。これは、主に抵当貸付サービシング収益が減少したこと及び資産の売却による収益がなかったことによるものです。平均貸出金残高は、5%減少しました。これは住宅用不動産の融資及びローンが減少したことによるものです。平均預金残高は、3%増加しました。
- 与信費用は21%増加しました。これは、正味貸倒損失の16億ドルの増加及びポートフォリオ全体にわたる20億ドルの正味貸倒引当金繰入額(全ての商品ラインにわたる顧客向けローンについてのローン調整の増加に対する引当金の追加を含みます)を含みます。貸倒引当金繰入額は、前年同期よりも766百万ドル減少しています。与信費用の増加は、主な信用関連指標の悪化(第1及び第2順位抵当貸付、個人向け融資並びに自動車ローンにおける延滞が引き続き増加していることを含みます)を反映しています。与信費用は、住宅市場の低迷を含むマクロ経済環境のトレンドも反映しています。正味貸倒損失率は、222 ベーシス・ポイント上昇して3.62%になりました。22億ドルの純損失となりましたが、これは主に収益の減少、226百万ドルの事業再構築費用及び与信費用の増加によるものです。

● ヨーロッパ・中東・アフリカ

- 収益は27%減少しました。これは、平均貸出金残高が14%、平均預金残高が28%、それぞれ減少したためです。平均預金残高の減少は、主に外国為替の影響、及び主に英国における政府保証プログラムに預金を対応させる顧客の行動によるものです。資産運用商品の販売及び運用資産は、主に市場状況の悪化を要因として減少しました。

- 与信費用は3%増加しました。これは、正味貸倒損失の14%(25百万ドル)の増加によるものです。83百万ドルの正味貸倒引当金繰入額は、前年同期より16百万ドル減少しました。与信費用の増加は、特にスペイン及びギリシャにおいて引き続き与信が悪化したことを反映しています。正味貸倒損失率は、95ベース・ポイント上昇して3.75%になりました。収益の減少及び与信費用の増加により233百万ドルの純損失となりました。

● ラテンアメリカ

- 収益は27%減少しました。これは、外国為替の影響、前年同期に計上したピザ株式に関する利益がないこと、2008年1月に完了したチリの個人向け銀行業務部門の売却によるものです。外国為替の影響により、平均貸出金残高が3%、平均預金残高が13%それぞれ減少しました。
- 与信費用はおおよそ2倍になりました。これは、正味貸倒損失の32%(35百万ドル)の増加及び正味貸倒引当金繰入額94百万ドルの追加計上によるものです。与信費用の増加は、メキシコ、ブラジル及びコロンビアにおいて引き続き与信環境が悪化したことを反映しています。正味貸倒損失率は、108ベース・ポイント上昇して4.04%になりました。収益の減少と与信費用の大幅な増加により、76百万ドルの純損失となりました。

● アジア

- 日本の消費者金融事業を除くと、収益は20%減少しました。これは、主に、アジア全体の株式市場が引き続き低迷していることを反映して、資産運用商品の販売が83%減少し、資産運用商品の収益が大幅に減少したことによるものです。平均貸出金残高が12%、平均預金残高が9%それぞれ減少しましたが、これは主に外国為替の影響によるものです。与信費用は、正味貸倒損失の57%(59百万ドル)の増加及び正味貸倒引当金繰入額71百万ドルの追加計上のため、2倍以上となりました。与信費用が増加したのは、主に、インドにおける与信環境が引き続き悪化しているためです。正味貸倒損失率は、66ベース・ポイント上昇して1.48%になりました。純利益は、35%減少して251百万ドルになりました。
- 日本の消費者金融事業では、収益は47%減少しました。これは、引き続きポートフォリオ抑制をしたことにより正味利息収益が減少したことを反映しています。収益は、顧客との和解による損失見積に対して引当金を積み増すための174百万ドルの繰入れ(税引前)を含んでいます。これは、前年同期に計上した188百万ドルの繰入れ(税引前)と比較されます。545百万ドルの純利益は、主に法人の再編による750百万ドルの税務便益を反映したものです。

インスティテューショナル・クライアント・グループ

(単位:百万ドル)	第4四半期収益			第4四半期純利益		
	2008	2007	% 増減	2008	2007	% 増減
北米	\$(11,331)	\$(11,889)	5%	\$(8,784)	\$(8,785)	--
ヨーロッパ・中東・アフリカ	988	(3,762)	NM	(240)	(3,543)	93
ラテンアメリカ	561	812	(31)	129	334	(61)%
アジア	(808)	1,749	NM	(1,283)	604	NM
証券及び銀行業務	\$(10,590)	\$(13,090)	19%	\$(10,178)	\$(11,390)	11%
北米	\$591	\$468	26%	\$71	\$50	42%
ヨーロッパ・中東・アフリカ	818	779	5	265	171	55
ラテンアメリカ	336	341	(1)	108	132	(18)
アジア	654	711	(8)	277	314	(12)
トランザクション・サービス	\$2,399	\$2,299	4%	\$721	\$667	8%
インスティテューショナル・クライアント・グループ	\$(8,191)	\$(10,791)	24%	\$(9,457)	\$(10,723)	12%

NM: 意味を持たない。

● 証券及び銀行業務

証券及び銀行業務の収益は、大幅な評価損及び損失により、106億ドルの赤字となりました。

債券市場業務の収益は、134 億ドルの赤字となりました。これには、以下の要因が反映されています。

- デリバティブ・ポジション(モライン保険会社を除きます。)に関する与信評価の下方修正53億ドル。クレジット市場の長引く混乱により取引相手方の信用スプレッドが拡大しましたが、TARPに基づく資本注入は、シティの信用スプレッドの縮小に貢献しました。このような特異な状況で、下方修正を余儀なくされました。
- サブプライム関連の直接的エクスポージャーに関する正味評価損46億ドル。2008年12月31日における当該エクスポージャーとしては、貸出及びストラクチャリング業務に係る総エクスポージャーが約20億ドル、またABS CDOスーパー・シニアに係る正味のエクスポージャーが約120億ドル(ABS CDOスーパー・シニアに係る総エクスポージャーは189億ドル)ありました。2008年9月30日における当該エクスポージャーとしては、貸出及びストラクチャリング業務に係る総エクスポージャーが約33億ドル、またABS CDOスーパー・シニアに係る正味のエクスポージャーが約163億ドル(ABS CDOスーパー・シニアに係る総エクスポージャーは257億ドル)ありました。詳細については、付表Eを参照してください。
- プライベートエクイティ及びエクイティ投資に関する損失25億ドル。
- Alt-Aモーゲージの評価損13億ドル(ヘッジ控除後)。
- SIV資産における評価損11億ドル。
- 商業不動産のポジションに関する評価損991百万ドル。
- モライン保険会社に対するエクスポージャーに関する与信評価の下方修正897百万ドル。
- ARS自己勘定ポジションに関する評価損307百万ドル及び2008年8月7日における和解に関連するポジションに関する87百万ドルの評価損。
- 収益の赤字は、公正価値オプションが選択された負債の市場価値の決定にあたりシティの信用スプレッドを反映させたことに関連する20億ドルの利益並びに債券及び為替事業における高い収益により、一部相殺されました。

株式市場業務の収益は14 億ドル減少し、650 百万ドルの赤字となりました。現物取引及びプライム・ブローカーにおける収益が、デリバティブ、転換社債、及び自己勘定トレーディングにおける損失によって相殺されました。

貸出業務の収益は11 億ドル増加し、21 億ドルとなりました。これは、主にクレジット・デフォルト・スワップのヘッジによる収益に拠るものですが、実行・未実行の高レバレッジ・ファイナンスのコミットメントに関する評価損 382 百万ドル(引受手数料控除後)により、一部相殺されました。

投資銀行業務の純収益は79%減少し、275 百万ドルとなりました。

- アドバイザリー業務の収益は、引き続き厳しい市場状況を反映して、57%減少し、236百万ドルとなりました。
- 株式引受業務の収益は、引き続き株式市場のボラティリティ及び世界的な取引高の大幅な減少を反映して435百万ドル減少し、26百万ドルとなりました。
- 債券引受業務の収益は86%減少し、56百万ドルとなりました。これは、主に高レバレッジ・ファイナンスのコミットメントに関する213百万ドルの正味評価損及び市場取引高の全体的な低迷によるものです。

北米の業績には、サブプライム関連の直接的エクスポージャー、Alt-A モーゲージ及び商業不動産のポジションに関する評価損、並びにデリバティブ・ポジション(モライン保険会社を除きます。)に関する与信評価の下方修正の影響が反映されています。収益の赤字は、クレジット・デフォルト・スワップのヘッジによる収益及び為替取引の好調な業績により、一部相殺されています。ヨーロッパ・中東・アフリカでの収益は48 億ドル増加しましたが、これは主に、サブプライム関連の直接的エクスポージャーが2008年第2四半期にヨーロッパ・中東・アフリカから北米に移転された後、現在主に北米で管理されているからです。ヨーロッパ・中東・アフリカの収益はさらに、為替事業並びに現地市場における販売及びトレーディングの好調な業績も反映しています。ラテンアメリカの収益は31%減少しました。これは主に株式取引に関する不利な市場状況及び信用スプレッド拡大の時価評価における影響を反映していますが、現地市場における販売及びトレーディング並びに貸出業務の改善により一部相殺されています。アジアにおける収益は26 億ドル減少し、自己勘定投資による損失及び厳しい市場状況(債券及び為替事業の好調な業績によって一部相殺)を反映しています。

経費は12%減少しました。これは、主として、人員削減による給料及びインセンティブ報酬の大幅な減少並びにコスト削減によるものですが、日興アセットマネジメントの無形資産減損費用563 百万ドル、事業再構築費用457 百万ドルによって相殺されています。

与信費用は、主に、正味貸倒引当金繰入額21 億ドルの追加計上のため大きく増加しました。この貸倒引当金繰入額には、特定の取引相手方のための貸倒引当金の正味繰入額15 億ドルの追加計上が反映されています(ライオンデル

パセル向けの12億ドル及び法人の与信環境の全般的な悪化を反映するための正味繰入額6億ドルの追加計上を含みます)。

● トランザクション・サービス

トランザクション・サービス業務の収益は、4%増加し、24億ドルとなりました。これはTTSにおける二桁台の収益の伸びを反映しています。北米の好業績によって、平均預金残高及び他の顧客債務残高は5%増加しました。管理資産は株式市場の低迷を背景に18%減少しました。

- TTSの収益は15%増加しました。これは、債務の増加及び新規取引獲得によるものです。証券サービスの収益は15%減少しましたが、これは主に管理資産の評価が低下したこと並びに取引高及び残高に対する市場の混乱の影響によるものです。
- 北米の収益は26%増加しましたが、これは主に残高からの金利収益が増加したことによるものです。ヨーロッパ・中東・アフリカの収益は、主に顧客債務残高の増加により、5%増加しました。ラテンアメリカの収益は1%減少しました。アジアにおける収益は8%減少しましたが、これは、前年同期に計上したビザ株式に関する利益が当期にはなかったことが主な要因です。収益は、株式評価の低下による証券サービス手数料の減少及び外国為替の影響も反映しています。

経費は2%減少しました。これは、人員削減、リエンジニアリングの取組みによる効果及び外国為替の影響を反映しています。純利益は、北米及びヨーロッパ・中東・アフリカにおける高い伸びを背景に、8%増加し、721百万ドルとなりました。

グローバル・ウェルス・マネジメント部門

(単位:百万ドル)	第4四半期収益		%	第4四半期純利益		%
	2008	2007		2008	2007	
北米	\$2,175	\$2,509	(13)%	\$230	\$386	(40)%
ヨーロッパ・中東・アフリカ	134	159	(16)	14	20	(30)
ラテンアメリカ	63	98	(36)	(1)	16	NM
アジア	471	698	(33)	(214)	102	NM
グローバル・ウェルス・マネジメント部門	\$2,843	\$3,464	(18)%	\$29	\$524	(94)%

NM:意味を持たない。

- グローバル・ウェルス・マネジメント部門の収益は18%減少しました。これは、特に北米及びアジアにおけるキャピタル・マーケット及び投資事業の収益に係る市場状況の悪影響によるものです。収益には、ARS和解に関連する87百万ドルの評価損も含まれています。平均貸出金残高は3%、平均預金残高は4%、それぞれ減少し、手数料ベースの運用顧客資産残高は35%減少しました。手数料ベースの運用顧客資産残高の減少は、主として低調な市場動向を反映して資産評価が低下したことによるものです。
 - 北米の収益は13%減少しました。これは、厳しい市場状況により投資及びキャピタル・マーケット事業の収益が減少したことによるものですが、銀行業務及び貸出業務の収益の増加によって一部相殺されています。平均預金残高は、顧客ポートフォリオの流動資産割合を増やす再調整により7%増加しました。ヨーロッパ・中東・アフリカにおける収益は、主として管理手数料及び取引収益の減少により、16%減少しました。ラテンアメリカにおける収益も市場状況の影響を反映して36%減少しました。アジアにおける収益は33%減少しました。これは、厳しい市場状況が続いたことにより投資及びキャピタル・マーケット事業の収益が大幅に減少したことによるものです。
- 経費は2%減少しました。これは報酬費用の減少によるものですが、306百万ドルの事業再構築費用により一部相殺されています。与信費用は160百万ドル増加しました。これは、主として北米の住宅抵当貸付に関して正味貸倒引当金繰入額118百万ドルを追加計上したことによるものです。純利益は、大幅に減少して29百万ドルとなりました。

本社事項/その他

本社事項/その他の254百万ドルの収益は、主としてシティ・グローバル・サービス・リミテッドの売却による税引前利益263百万ドル及び効果的なヘッジによるものです。421百万ドルの純損失は、事業再構築費用を主因とする費用の増加及び本社における税額の増加を反映しています。

非継続事業

非継続事業における38億ドルの利益は、主としてシティのドイツにおけるリテールバンク部門の売却に係る税引後利益39億ドルを反映しており、これには契約締結後に実行された為替ヘッジの便益の第4四半期における影響が含まれています。

非GAAPの財務情報の調整は、本プレスリリースの17ページに記載されています。

シティは、約2億の顧客口座を有し、世界100カ国以上に展開する世界有数のグローバルな金融機関です。顧客、企業、政府及び機関投資家を対象として、個人向け銀行業務、消費者金融、法人・投資銀行業務、証券業務、資産管理の分野において、幅広い金融商品やサービスを提供しています。シティの主要なブランドには、シティバンク、シティ・フィナンシャル、プライメリカ、スミス・パーニー、バナメックス及び日興が含まれます。詳しくは、www.citigroup.com または www.citi.com をご覧ください。

追加の財務、統計及び業務関連の情報並びに業務及びセグメントのトレンドに関してはフィナンシャル・サプPLEMENT (Financial Supplement) に含まれていません。本発表及びフィナンシャル・サプPLEMENTはシティのウェブサイト (www.citigroup.com または www.citi.com) にて入手することができます。

本書には、米国民事証券訴訟改革法に定める「将来の見通しに関する記述」が含まれています。こうした記述は、経営陣の現在の予測に基づくものであり、不確定要素や状況の変化により影響を受けます。様々な要因により、実際に生じる結果は、こうした記述に含まれる情報と大きく異なる可能性があります。これらの要因に関するより詳細な情報は、シティグループが米国証券取引委員会に提出する文書中に記載されます。

本発表に関する日本国内の連絡先:

シティグループ・インク代理人

長島・大野・常松法律事務所

弁護士 杉本文秀

電話: 03-3511-6133 (直通)

付表 A

地域別業績

(単位:百万ドル)	第 4 四半期収益			第 4 四半期純利益		
	2008	2007	% 増減	2008	2007	% 増減
グローバル・カード部門	\$2,640	\$3,678	(28)%	\$(371)	\$322	NM
個人向け銀行業務部門	3,604	4,545	(21)	(2,165)	(920)	NM
インスティテューショナル・クライアント・グループ	(10,740)	(11,421)	6	(8,713)	(8,735)	--
グローバル・ウェルス・マネジメント部門	2,175	2,509	(13)	230	386	(40)
北米	\$(2,321)	\$(689)	NM	\$(11,019)	\$(8,947)	(23)%
グローバル・カード部門	\$537	\$565	(5)%	\$(138)	\$120	NM
個人向け銀行業務部門	512	697	(27)	(233)	(64)	NM
インスティテューショナル・クライアント・グループ	1,806	(2,983)	NM	25	(3,372)	NM
グローバル・ウェルス・マネジメント部門	134	159	(16)	14	20	(30)
ヨーロッパ・中東・アフリカ	\$2,989	\$(1,562)	NM	\$(332)	\$(3,296)	90%
グローバル・カード部門	\$869	\$1,218	(29)%	\$(154)	\$251	NM
個人向け銀行業務部門	858	1,172	(27)	(76)	206	NM
インスティテューショナル・クライアント・グループ	897	1,153	(22)	237	466	(49)
グローバル・ウェルス・マネジメント部門	63	98	(36)	(1)	16	NM
ラテンアメリカ	\$2,687	\$3,641	(26)%	\$6	\$939	(99)%
グローバル・カード部門	\$566	\$818	(31)%	\$53	\$241	(78)%
個人向け銀行業務部門	1,103	1,422	(22)	796	200	NM
インスティテューショナル・クライアント・グループ	(154)	2,460	NM	(1,006)	918	NM
グローバル・ウェルス・マネジメント部門	471	698	(33)	(214)	102	NM
アジア	\$1,986	\$5,398	(63)%	\$(371)	\$1,461	NM
本社事項/その他	254	(369)	NM	(421)	(188)	NM
継続事業からのシティ合計	\$5,595	\$6,419	(13)%	\$(12,137)	\$(10,031)	(21)%
非継続事業				3,843	198	NM
シティ合計				\$(8,294)	\$(9,833)	16%

NM: 意味を持たない。

付表 B

通期地域別業績

(単位:百万ドル)

	通期収益			通期純利益		
	2008	2007	% 増減	2008	2007	% 増減
グローバル・カード部門	\$10,299	\$13,893	(26)%	\$(529)	\$2,713	NM
個人向け銀行業務部門	16,627	16,991	(2)	(4,529)	780	NM
インスティテューショナル・クライアント・グループ	(22,477)	(3,040)	NM	(20,471)	(6,733)	NM
グローバル・ウェルス・マネジメント部門	9,295	9,790	(5)	968	1,415	(32)
北米	\$13,744	\$37,634	(63)%	\$(24,561)	\$(1,825)	NM
グローバル・カード部門	\$2,326	\$1,955	19%	\$(117)	\$232	NM
個人向け銀行業務部門	2,596	2,485	4	(475)	(122)	NM
インスティテューショナル・クライアント・グループ	5,592	4,235	32	(1,102)	(1,900)	42
グローバル・ウェルス・マネジメント部門	604	543	11	84	77	9
ヨーロッパ・中東・アフリカ	\$11,118	\$9,218	21%	\$(1,610)	\$(1,713)	6%
グローバル・カード部門	\$5,017	\$4,803	4%	\$491	\$1,233	(60)%
個人向け銀行業務部門	3,959	4,185	(5)	300	660	(55)
インスティテューショナル・クライアント・グループ	3,812	4,206	(9)	1,292	1,630	(21)
グローバル・ウェルス・マネジメント部門	357	373	(4)	56	72	(22)
ラテンアメリカ	\$13,145	\$13,567	(3)%	\$2,139	\$3,595	(41)%
グローバル・カード部門	\$2,565	\$2,400	7%	\$321	\$496	(35)%
個人向け銀行業務部門	5,470	5,797	(6)	1,151	839	37
インスティテューショナル・クライアント・グループ	5,256	8,339	(37)	406	2,848	(86)
グローバル・ウェルス・マネジメント部門	2,345	2,292	2	(17)	410	NM
アジア	\$15,636	\$18,828	(17)%	\$1,861	\$4,593	(59)%
本社事項/その他	(850)	(752)	(13)	(954)	(1,661)	43
継続事業からのシティ合計	\$52,793	\$78,495	(33)%	\$(23,125)	\$2,989	NM
非継続事業				4,410	628	NM
シティ合計				\$(18,715)	\$3,617	NM

NM: 意味を持たない。

付表 C

通期事業部門別業績

(単位:百万ドル)	通期収益			通期純利益		
	2008	2007	% 増減	2008	2007	% 増減
北米	\$10,299	\$13,893	(26)%	\$(529)	\$2,713	NM
ヨーロッパ・中東・アフリカ	2,326	1,955	19	(117)	232	NM
ラテンアメリカ	5,017	4,803	4	491	1,233	(60)
アジア	2,565	2,400	7	321	496	(35)
グローバル・カード部門	\$20,207	\$23,051	(12)%	\$166	\$4,674	(96)%
北米	\$16,627	\$16,991	(2)%	\$(4,529)	\$780	NM
ヨーロッパ・中東・アフリカ	2,596	2,485	4	(475)	(122)	NM
ラテンアメリカ	3,959	4,185	(5)	300	660	(55)
アジア	5,470	5,797	(6)	1,151	839	37
個人向け銀行業務部門	\$28,652	\$29,458	(3)%	\$(3,553)	\$2,157	NM
北米	\$(22,477)	\$(3,040)	NM	\$(20,471)	\$(6,733)	NM
ヨーロッパ・中東・アフリカ	5,592	4,235	32%	(1,102)	(1,900)	42
ラテンアメリカ	3,812	4,206	(9)	1,292	1,630	(21)
アジア	5,256	8,339	(37)	406	2,848	(86)
インスティテューショナル・クライアント・グループ	\$(7,817)	\$13,740	NM	\$(19,875)	\$(4,155)	NM
北米	\$9,295	\$9,790	(5)%	\$968	\$1,415	(32)%
ヨーロッパ・中東・アフリカ	604	543	11	84	77	9
ラテンアメリカ	357	373	(4)	56	72	(22)
アジア	2,345	2,292	2	(17)	410	NM
グローバル・ウェルス・マネジメント部門	\$12,601	\$12,998	(3)%	\$1,091	\$1,974	(45)%
本社事項/その他	(850)	(752)	(13)	(954)	(1,661)	43
継続事業からのシティ合計	\$52,793	\$78,495	(33)%	\$(23,125)	\$2,989	NM
非継続事業				4,410	628	NM
シティ合計				\$(18,715)	\$3,617	NM
継続事業からの一株当たり利益				\$(4.72)	\$0.59	NM
一株当たり利益				\$(3.88)	\$0.72	NM

NM: 意味を持たない。

付表 D

証券及び銀行業務の収益項目の概要

(単位:百万ドル)	2008年 第4四半期
サブプライム関連の直接的エクスポージャーの正味評価損	\$(4,582)
Alt-A 抵当貸付の評価損(ヘッジ控除後)	(1,319)
SIV 資産の評価損	(1,064)
商業不動産ポジションの評価損	(991)
モノライン保険会社のエクスポージャーに関する与信評価の下方修正	(897)
高レバレッジ・ファイナンス・コミットメントの評価損(引受手数料控除後)	(594)
ARS 自己勘定ポジションの評価損	(307)
公正価値オプションによるシティの負債の時価会計	1,981
合計	\$(7,773)

付表E

証券及び銀行業務におけるサブプライム関連の直接的エクスポージャー
 以下の表は、証券及び銀行業務におけるシティのサブプライム関連の直接的エクスポージャー(CDO スーパー・シニアに係るエクスポージャー並びに貸出及びストラクチャリング業務におけるエクスポージャーにより構成)を示したものであります。

(単位:10 億ドル)	2008 年 9 月 30 日 エクスポージャー	2008 年第 4 四半期 評価損 ⁽¹⁾	2008 年第 4 四半期 売却 / 移転 / リスト ラクチャリング / 清算 / 返済	2008 年 12 月 31 日 エクスポージャー
直接的 ABS CDO スーパー・シニア・エクスポージャー:				
ABS CDO スーパー・シニアに係る 総エクスポージャー	\$25.7			\$18.9
ヘッジド・エクスポージャー	9.4			6.9
ABS CDO スーパー・シニアに係る 正味のエクスポージャー:				
ABCP ⁽²⁾	\$13.3	\$(3.1)	\$(0.3)	\$9.9
ハイグレード	1.1	(0.4) ⁽³⁾	0.1	0.8
メザニン	1.7	(0.3) ⁽³⁾	(0.2)	1.3
ABS CDO スクエアード	0.1	(0.1)	(0.0)	0.0
ABS CDO スーパー・シニアに係る 正味のエクスポージャー合計	\$16.3	\$(3.9)	\$(0.3)⁽⁴⁾	\$12.0
貸出及びストラクチャリング業務におけるエクスポージャー:				
一時保有の CDO / ABS CDO の 未販売トランシェ	\$0.1	\$(0.0)	\$(0.0)	\$0.0
転売又は証券化目的で購入された サブプライム・ローン	2.1	(0.5)	(0.2)	1.3
サブプライムにより担保された ファイナンス取引	1.1	(0.1) ⁽³⁾	(0.3)	0.7
貸出及びストラクチャリング業務におけるエクスポージャー合計	\$3.3	\$(0.7)	\$(0.5)	\$2.0
エクスポージャー合計⁽⁵⁾	\$19.6	\$(4.6)	\$(0.9)	\$14.1
ヘッジ・カウンターパーティー・エクスポージャー に係る 与信評価の調整 ⁽⁶⁾		\$(0.9)		
正味評価損合計		\$(5.6)		

(1) 清算に伴う純利益を含みます。

(2) 過去のハイグレードの ABS CDO を含みます。

(3) 与信費用に計上された合計 63 百万ドルも含まれます。

(4) CDO の清算に伴い原資産である有価証券の一部が買い取られ、トレーディング・ブック上で管理・売却が行われています。2008 年 12 月 31 日現在、清算された取引に関する 227 百万ドルがトレーディング・ブック上で保管されています。

(5) CDO スーパー・シニアに係る正味のエクスポージャー並びに貸出及びストラクチャリング業務におけるエクスポージャーの総額によって構成されます。

(6) FAS 第 157 号による調整はカウンターパーティーと信リスクに関連するものです。

注記: 四捨五入により、合計欄は必ずしも上記の値の総計ではありません。

シティの CDO スーパー・シニアに係るサブプライム関連の直接的エクスポージャーを構成する ABCP 及び CDO スクエアードは、清算に関連する損失を除き、観察可能な取引を基礎とした評価ではなく、内在的なキャッシュフロー分析を基礎とした評価に服しています。第 4 四半期において、見込額算定のための数値は市場の動向を反映するために修正されています。かかる分析方法では、将来 4 年間にわたる住宅価格の調整見込み、失業率、利率、その変動率及びモーゲージの実績データを含むマクロ経済ファクター、並びに、貸付の性格(例えば貸付期間、与信スコア、契約等の作成状況、ローン・トゥー・バリュー(LTV)比率及びデット・トゥー・インカム(DTI)比率)を含むミクロ経済ファクターの両方を考慮に入れています。加えて、かかる分析では、抵当担保の地域的集中の影響、サブプライム抵当担保の組成に関し報告されている詐欺行為の予想される影響や各段階におけるエクスポージャーに適用される割引率を考慮に入れています。

スーパー・シニアに係るサブプライム関連の直接的エクスポージャーを構成するハイグレード及びメザニンは、原資産担保の取引に基づいて評価されています。かかる変更は、現在、ハイグレード及びメザニンのポジションが観察可能な取引に基づいて評価されるショートポジションによって大きくヘッジされていること及び第 3 四半期において複数のハイグレード及びメザニンのポジションの清算があったことによるものです。

ABCP 及び CDO スクエアードスーパー・シニアに係るエクスポージャーの公正価値の見込額は市場状況によって異なり、将来のさらなる変化に服するものです。また、シティはかかるエクスポージャー評価に使われる分析方法が合理的であると信じておりますが、かかる分析方法は、将来の市場環境の変化等に応じて継続的に改善されていくものです。さらにいくつかあるいは全てのかかる ABCP 及び CDO スクエアードのエクスポージャーに関する観察可能な取引が行われているか、

又は将来行われる限度において、見込額に代えて、かかる観察可能な取引が公正価格の決定に使われる可能性があります。

ほとんどの貸出及びストラクチャリング業務における直接的サブプライムエクスポージャーは観察可能な取引及びその他の市場データを基礎とした公正価格です。このエクスポージャーの大半はレベル 3 資産に分類されます。

証券及び銀行業務においては、米国のサブプライム住宅抵当引当証券 (RMBS) 及び関連商品 (例えば ABS CDO) に関する、トレーディングに関するショート、ロングの両ポジションを持っておりますが、それらは上記の数値には入っておりません。かかるポジションに関するエクスポージャーは積極的に管理され、またヘッジされておりますが、使用されているヘッジ商品の有効性は市場状況の重要な変化によって変わってくる可能性があります。

付表 F

プレスリリース開示項目の概要(単位:百万ドル)

証券及び銀行業務におけるサブプライム関連の直接的エクスポージャーについては、付表 E をご参照下さい。

2008年第4四半期(単位:百万ドル)	税引き前効果	税引き後効果	損益計算書の 項目	事業部門/地域
事業再構築費用	\$(1,970)	\$(1,217)	費用	シティ全体
NAM(日興アセットマネジメント)減損費用	(563)	(363)	費用	証券及び銀行業務/アジア
日本の消費者金融の顧客との和解に関する引当金	(174)	(113)	収益	個人向け銀行業務部門/アジア
ARS和解	(173)	(105)	収益	証券及び銀行業務及びグローバル・ウェルス・マネジメント部門/北米
シティ・グローバル・サービス・リミテッドの売却益	263	192	収益	本社事項/その他
CFJの再編に関する税務効果	n/a	994	税金	グローバル・カード部門、個人向け銀行業務部門及びインスティテューショナル・クライアント・グループ/アジア
ドイツのリテールバンキング部門の売却益 ⁽¹⁾	n/a	3,919	廃止事業	n/a

(1) 契約締結後に実行された為替ヘッジの便益の第4四半期における影響を含みます。

2007年第4四半期(単位:百万ドル)	税引き前効果	税引き後効果	損益計算書の 項目	事業部門/地域
ピザ株式に関する利益	\$534	\$336	収益	グローバル・カード部門、個人向け銀行業務部門及びトランザクション・サービス/ヨーロッパ・中東・アフリカ、ラテンアメリカ、アジア
シンプレックス・インベストメント・アドバイザーズの持分の売却益	313	106 ⁽¹⁾	収益	証券及び銀行業務 ⁽²⁾ /アジア
マスターカード株式の売却益	152	99	収益	グローバル・カード部門、トランザクション・サービス/北米
日本の消費者金融事業における顧客との和解に関する引当金	(188)	(122)	収益	個人向け銀行業務部門/アジア
ピザ・インク関連訴訟引当金	(306)	(199)	費用	グローバル・カード部門、トランザクション・サービス/北米
リポジショニング費用	(539)	(337)	費用	シティ全体

(1) 少数株主持分を除きます。

(2) 個人向け銀行業務部門から証券及び銀行業務に組み替えられています。

非 GAAP 財務指標

下記は、米国証券取引委員会 (SEC) 規則の「非 GAAP 財務指標」として考慮される指標です。

- 1) シティの費用は事業再構築及びリポジショニング費用を除外しています。
- 2) シティの費用は事業再構築及びリポジショニング費用、日興アセットマネジメントに関する無形資産減損費用並びにビザ関連訴訟費用を除外しています。
- 3) グローバル・カード部門の収益は管理ベースとなっています。
- 4) アジア個人向け銀行業務部門の収益は、日本の消費者金融事業を除外しています。
- 5) アジア個人向け銀行業務部門の正味貸倒損失は、日本の消費者金融事業を除外しています。
- 6) アジア個人向け銀行業務部門の正味貸倒損失率は、日本の消費者金融事業を除外しています。
- 7) アジア個人向け銀行業務部門の純利益は、日本の消費者金融事業を除外しています。

当社は、これらの非 GAAP 財務指標は、現在の業務のより深い理解を提供し、前期間におけるこれらの結果との比較可能性を高め、また、当四半期における特別の利益や費用の影響を示すものであると考えます。当社は、その業績の意義ある分析のためには業績の背後にあるファクターの理解が欠かせないものであると考えます。当社は、当社の業績の基本的なトレンドを不明確化する可能性のある特別な項目の影響を除いた業績を分析するため、投資家の皆様にとって非 GAAP 財務指標をご覧頂くことが有用であるものと考えております。

上記 GAAP 財務指標から非 GAAP 財務指標への調整は下記のとおりです。

	2008 年 第 4 四半期	2008 年 第 3 四半期	2008 年第 4 四半期と 2008 年第 3 四半期の増 減比較 (%)
<i>(単位:百万ドル)</i>			
GAAP 基準のシティの費用	\$15,348	\$14,425	6%
事業再構築及びリポジショニング費用を除く	(1,970)	(459)	
非 GAAP 基準のシティの費用	\$13,378	\$13,966	(4)%
<i>(単位:百万ドル)</i>			
GAAP 基準のシティの費用	\$15,348	\$16,100	(5)%
事業再構築及びリポジショニング費用を除く	(1,970)	(539)	
非 GAAP 基準のシティの費用	\$13,378	\$15,562	(14)%
GAAP 基準のシティの費用	\$15,348	\$16,100	(5)%
事業再構築及びリポジショニング費用を除く	(1,970)	(539)	
NAM(日興アセットマネジメント)に関する無形固定資産減損 費用を除く	(563)	--	
ビザ関連訴訟費用を除く	--	(306)	
非 GAAP 基準のシティの費用	\$12,815	\$15,256	(16)%
GAAP 基準のグローバル・カード部門収益	\$4,612	\$6,279	(27)%
証券化業務による影響を除く	2,426	1,200	
非 GAAP 基準のグローバル・カード部門収益	\$7,038	\$7,479	(6)%
GAAP 基準のアジア個人向け銀行業務部門収益	\$1,103	\$1,422	(22)%
日本の消費者金融事業の収益を除く	67	126	
非 GAAP 基準のアジア個人向け銀行業務部門収益	\$1,036	\$1,296	(20)%

GAAP 基準のアジア個人向け銀行業務部門正味貸倒損失	\$466	\$416	12%
日本の消費者金融事業の正味貸倒損失を除く	<u>305</u>	<u>314</u>	
非 GAAP 基準のアジア個人向け銀行業務部門正味貸倒損失	\$161	\$102	58%
GAAP 基準のアジア個人向け銀行業務部門正味貸倒損失率	3.59%	2.85%	74 bps
日本の消費者金融事業正味貸倒損失率を除く	<u>14.62%</u>	<u>14.66%</u>	
非 GAAP 基準のアジア個人向け銀行業務部門正味貸倒損失率	1.48%	0.82%	66 bps
GAAP 基準のアジア個人向け銀行業務部門純利益	\$796	\$200	NM
日本の消費者金融事業の純利益を除く	<u>(545)</u>	<u>184</u>	
非 GAAP 基準のアジア個人向け銀行業務部門純利益	\$251	\$384	(35)%